

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 |
| (2) 事業所名 | 陣山乳児保育所 |
| (3) 所在地 | 北九州市八幡西区陣山三丁目5番20号 |
| (4) 電話番号 | 093-681-9110 |

2 評価実施日

平成17年9月29日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所は、JR黒崎駅と八幡駅の間に位置し、住宅や工場が点在する市街地の中にあります。

日々の保育では、小規模な乳児専門保育所という特色を生かした保育が実践されています。保育者がおんぶや、抱っこするなど子どもと触れ合ったり、わらべ歌を一緒に歌ったり、見立て遊びやごっこ遊びを楽しむなど、一人一人を受容し、家庭的な雰囲気大切に温かくきめ細かな保育が行われており高く評価できます。

子どもが落ち着いた雰囲気の中で過ごせるよう、各クラスに段ボールを利用した手作りの家やソファなどが設置されています。また発達に応じた手作りの玩具や人形が置かれたコーナーが作られ、子どもが主体的に遊ぶ環境が整えられています。メダカやカタツムリなどの小動物が飼育され、園庭には季節の花や野菜などが栽培されており、自然と触れ合う機会が設けられています。地域の自治会と連携を図り、黒崎祇園の祭りの際には山笠を保育所まで来てもらい、子どもに山笠に触れる経験をさせるなど地域の文化や特色を生かした保育が行われています。

健康管理においては、看護師が担当保育士と連携して全児の視診を行い、子どもの日々の健康状態の把握に努めています。また職員会議では看護師から感染症の対応方法や健康管理でのポイントなどについての情報提供がなされています。

保護者との日常的な情報交換は、登降所時の会話とともに個人連絡ノートで密に行われています。また保育所での子どもの様子を写真とコメント入りで紹介するなど保護者に視覚的に分かりやすく伝える工夫がなされています。そのほかにも全児に対する年2回の個人懇談、随時行われる子育て相談、行事ごとの保護者アンケートなど保護者との相互理解を図るための取り組みが熱心に行われています。

保育サービスの向上のために、職員会議で様々な提案がなされ改善が図られています。評価表を利用した自己評価や保育士相互による評価が行われ、ミニ公開保育や保育場面の撮影なども実施し保育の検討がなされています。また外部講師を招き、講師の助言をもとに配慮を要する子どもへの援助のあり方が検討されています。このようにきめ細かく自己研鑽に励んでいることは評価できます。

事故や災害に関するマニュアルが整備され、避難訓練や地震・不審者対策訓練のほか、心肺蘇生訓練やSIDS（乳幼児突然死症候群）通報訓練など乳幼児特有の症状に対応する訓練も行われています。

評価対象ごとの評価（概要）

| 評価対象 | 評価結果 |
|---|---|
| <p>子どもの発達援助</p> <p>一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p> | <p>福祉事業団作成の保育計画・指導計画をもとに保護者の意向を考慮し、家庭的な雰囲気作りや地域住民との交流を大切にした保育所独自の計画が策定されています。職員会議は全体会議を始め、クラス代表者による連絡会議などきめ細かく開催されています。その内容は職員会議録、連絡会議記録簿などに記載し、全職員に周知徹底され共通理解が図られています。</p> <p>毎月ケース会議（事例検討）が行われ、検討結果は個別に記録・整理され保育に生かされています。また、外部講師を招き、講師の指導・助言のもとに適切な援助のあり方が検討されています。</p> <p>健康管理や感染症のマニュアルが整備され、必要な情報は「ほけんだより」や「感染症情報ボード」で保護者に分かりやすく伝達されています。職員会議では看護師から「メディカルポイント」として感染症の対応方法や健康管理のポイントなどについて情報が提供されています。特に担任との連携のもと、看護師が毎朝全児の視診を行い、健康状態を把握し、病気やケガの早期発見に努めていることは評価できます。アレルギー疾患の子どもについては、医師からの診断書をもとに五者協議（保護者・所長・看護師・担任・給食調理員）の上除去食や代替食が提供されています。</p> <p>菜園活動で収穫された玉ねぎを使いカレーを作ったり、園庭のあんずの実をジャムにし食べるなど食事を楽しむ工夫がなされています。保護者には、子どもが喜ぶメニューのレシピを情報ボックスに配置したり、一日保育士体験後に給食試食会を実施するなど食に関する啓発も行われています。</p> <p>子どもが落ち着いた雰囲気の中で過ごせるよう、各クラスに畳や段ボールを利用した手作りの家、ソファなどが設置されています。また発達に応じた手作りの玩具や人形が置かれたコーナーが作られ、子どもが主体的に遊ぶ環境が整えられています。各クラスにはメダカやカタツムリなどの小動物が飼育され、園庭には季節の花や野菜などが栽培されており自然と触れ合う機会が設けられています。また、地域の自治会と連携を図り、黒崎祇園の祭り際には山笠を保育所まで来てもらい、子どもに山笠に触れる経験をさせるなど地域の文化や特色を生かした保育が行われています。</p> <p>日々の保育では、保育者がおんぶしたり、抱っこするなど子どもと触れ合いながら、受容を大切にした保育が展開されています。またわらべ歌を一緒に歌ったり、手作りの玩具を活用し、見立て遊びやごっこ遊びも楽しんでいます。絵本の読み聞かせは毎日丁寧に繰り返し行われ、言葉の美しさや面白さに気づくよう配慮されています。適切な安全・衛生管理のもと、子どもが安定した生活を送れるように配慮の行き届いた温かい保育が行われています。</p> <p>障害児保育については、専門機関との連携のもと、職員会議、ケース会議などで発達や課題について話し合い、全職員の共通理解のもと援助にあたるなど適切な対応がなされています。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p> | <p>保護者との日常的な情報交換は、登降所時の会話とともに個人連絡ノートで密に行われています。年2回全児に対する個人懇談が実施され、随時子育て相談にも応じています。また、保育参観やその他行事の際に保護者アンケートを実施し保護者の意見を行事に反映させるなど、一連の保護者との相互理解を図るための取り組みは評価できます。</p> <p>児童虐待への対応については、関係機関一覧表を作成し職員に周知を図り、研修にも定期的に参加するなど速やかに対応できるよう体制が整えられています。</p> <p>地域の子育て支援については、月1回陣山市民センターと連携し、未就園児の親子に対する遊びの提供や子育て相談が実施されています。地域に対して子育て体験や子育て相談の案内を積極的に行い、いつでも対応できる体制が整えられています。</p> |
| <p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p> | <p>関係機関からの情報は、機関別、内容別に整理・分類され、必要に応じて配布、回覧、掲示されています。</p> <p>子どもの発達や家庭支援に関する専門機関や、市民センター、陣山まちづくり協議会、民生・児童委員などの地域の関係機関とは密な連携が図られています。また今年度2回、陣山小学校6年生の保育体験が計画されているほか、黒崎保育所での運動会やふれあいコンサートに参加したり、永犬丸保育所でエコ紙芝居を見るなど小学校や他の保育所の子どもと交流する機会が設けられています。近隣住民への積極的な挨拶や声かけが心がけられ、各種行事等の際には市民センター、スーパー、病院などにポスターを掲示したり、手作りの案内チラシを配布するなど地域に根ざした保育所となるよう取り組みが行われています。</p> <p>実習生や保育体験、ボランティアの受け入れは、マニュアルに基づき行われ、目的に応じたプログラムが提供されています。保育体験者には、保育士体験証書が渡されるなど工夫がなされています。</p> |
| <p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p> | <p>保育理念・基本方針は明文化され、所内に掲示されるとともに、保護者へは入所時や行事の際に、地域へは屋外掲示板を利用し周知が図られています。また守秘義務の遵守については、職員会議で学習会が実施されるなど周知徹底されています。</p> <p>職員会議で保育の質や改善のための意見や提案を聞く場が設けられ、園舎のバリアフリー化についても、構造上、困難な点はあるものの、可能な範囲で様々な努力や工夫がなされています。また「勤務態度基準評価表」による自己点検や「保育評価表」による自己評価・他者評価が行われ、ミニ公開保育、保育場面のビデオ撮影なども実施されています。このように保育サービスの向上のためにきめ細かく自己研鑽に励んでいることは評価できます。</p> <p>保育所での子どもの様子を写真とコメントで紹介するなど保護者に視覚的に分かりやすく伝える工夫がなされています。地域には保育所の取り組みを理解してもらうために2ヶ月に1回「陣山乳児だより」が発行されています。</p> <p>事故や災害に関するマニュアルが整備され、毎月の消防署との連携による避難訓練や年3回の地震・不審者訓練が実施されています。また年1回の心肺蘇生訓練や年3回のSIDS通報訓練など乳幼児特有の症状に対応する訓練も行われており評価できます。</p> |

